

実は貴重な統計史料が個人の端末で利用できます

1 便利な国立国会図書館デジタルコレクションの個人向けデジタル化資料送信サービス

個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）は、国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難なもの¹を、インターネットを通じて個人の端末（パソコン、タブレット）等で令和4年（2022年）5月19日から利用可能となりました。利用に当たっては登録が必要です。

2 個人向けデジタル化資料送信サービスで利用可能な統計史料の例

国立国会図書館デジタルコレクションで利用可能な統計史料の例は、別表のとおりです（これまで統計図書館コラムや統計図書館ミニトピックスで参照した統計史料で筆者の記憶に残ったものに限ります。）。そのうち、個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）で利用可能な統計史料の例は、【別表】（国立国会図書館デジタルコレクションで利用可能な統計史料の例）の1-2のとおりです。

3 朗報と悲報

・朗報

個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）で提供される【別表】1-2の史料のうち、★を付したものは、令和5年（2023年）1月18日から、印刷（PDFによるプリントアウト）も可能になりました。

また、【別表】1-2の史料のうち、★を付したものは、令和5年（2023年）4月に新たに個人送信で閲覧可能となったことを確認できました。ただ、これらの史料については、現時点では全文検索の対象とはなっておりません。今後、順次OCRによる本文テキスト化作業を実施し、全文検索可能としていく予定とされています（令和5年3月31日国立国会図書館報道資料による。）。

・悲報

例えば、統計研究彙報（総務省統計研究研修所）の源流となる**統計時報***（国勢院時代に創刊）は、令和4年夏に、それまで個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）でしたが、残念ながら国立国会図書館限定となってしまいました…。²

***統計時報**の利用案内及び所在源情報は、統計図書館コラムNo.1014【別記】及び【付録】参照。

4 リニューアルされた国立国会図書館デジタルコレクション

令和4年（2022年）12月21日に国立国会図書館デジタルコレクションはリニューアルされました。

リニューアルにより令和2年12月までにデジタルコレクションに登録された図書・雑誌などのデジタル化資料がテキスト化され、全文検索可能な資料が大幅に増加しました。全文検索³でヒットした箇所は検索結果一覧に表示され、該当のコマに直接移動できるようになりました。

ちなみに、統計図書館コラム【雑学編】統計史料でみる明治・大正期【その1】附録2「太政官政表部門の所在地」の執筆の際、Google ブックスで公開されている総理府統計局八十年史稿のサイトから「庁舎」を検索したところ「月島分庁舎」を含む頁はヒットせず、「月島」の検索で「月島分庁舎」を含む頁がヒットした記

¹ 著作権者等の申出を受けて、3か月以内に入手困難な状態が解消する蓋然性が高いと国立国会図書館が認めたものを除きます。

² **統計時報**は、号によっては民間が出版したものがあることから、その出版社一社に照会したところ再版の予定がないことの確認がとれ、入手困難な巻号（Google ブックスでも欠号。⇒統計図書館コラムNo.1014【付録】参照）があることから、統計図書館の担当の方を経由して国立国会図書館に問い合わせたところ、**統計時報**のような雑誌については、市場で流通しているかどうかではなく、商業出版関係かどうかにより入手可能性調査を行った結果、日本書籍出版協会の日本出版百年史年表に掲載されているため商業出版と判断し、個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）から除外され、国立国会図書館限定となった…とのことでした。その際、次のサイトを紹介していただきました。読解力の弱い筆者は、同サイトを精読中で、あの世からお迎えが来るまでに理解することを目指しています（今後の人生の目標の一つになりました。）。

【参考】

・「図書館送信の除外手続について」（国立国会図書館HP）

⇒ https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/digitization/about_jyogai20210615.pdf

・「日本出版百年史年表」（日本書籍出版協会HP）

⇒ <http://www.shuppan-nenpyo.jp/>

³【参考】本文の全文検索については国立国会図書館デジタルコレクションのサイト（2-5（2）検索仕様）に次のように説明されており、利用に際しては、このことについて留意する必要があります。

⇒ <https://dl.ndl.go.jp/help#idx2-5>（ヘルプ>2-5（2）検索仕様についての「本文の全文検索について」）

全文検索の対象は次のとおりです。OCRによる全文テキストは校正を行っていないため、誤認識されたテキストが検索・表示される場合があります。

- ・電子ファイルに埋め込まれている全文テキスト（電子書籍・電子雑誌、電子形態で収集した博士論文）
- ・OCR（光学文字認識）処理によるデジタル化資料（図書、雑誌等の一部）の全文テキスト

憶があります。今回、改めて、Google ブックスで公開されている総理府統計局八十年史稿のサイト(ダウンロード可能なサイト)から「庁舎」の検索を行ったところ「月島分庁舎」を含む頁もヒットしました。このことはAIにおける機械学習あるいはディープラーニングによる効果によるものか、単に筆者の勘違いによるものなのかは不明です。

ここで、令和5年(2023年)1月18日現在における総理府統計局八十年史稿における「庁舎」の検索結果、Google ブックス(ダウンロード可能なサイト)における「庁舎」の検索結果と国立国会図書館デジタルコレクションの「庁舎」の全文検索結果を比較すると次のとおりでした(詳細は【付録】のとおり)。

○総理府統計局八十年史稿における「庁舎」の検索結果

Google ブックス(ダウンロード可能なサイト ⁴)	6件(うち写真の頁は0件)
国立国会図書館デジタルコレクション	13件(うち5件は写真の頁)

Google ブックスと国立国会図書館デジタルコレクションを併用することで、調べものの前置行為の作業である検索ワードの該当頁の特定を効率的に行うことができます。特にGoogle ブックスでヒットした場合は検索ワードがマーキングされるので該当箇所を特定を容易に行うことができます。仮に、Google ブックスで検索されなくても国立国会図書館デジタルコレクションで検索される場合があり、この場合、該当頁から該当箇所を目視で探すことができます。今後とも両者の検索技術がさらに進化することを期待したいと思います。昨年の統計図書館コラム【雑学編】統計史料でみる昭和・平成期【その3】+令和期 附録2「2021年を振り返るはずが」において50年後に筆者があの世界から見守ろうとしていたことが、2022年12月の国立国会図書館デジタルコレクションのリニューアルに伴い統計史料を含む貴重史料のテキストの全文検索機能が追加されたことを踏まえると、本稿と同時に公開したコラム「政表課誌のテキスト化の試みプラスアルファ」で記したとおり、生存中にPDFファイルのテキスト書き出しにおいて技術の進歩の恩恵を享受できる蓋然性が高いように感じました。そのため、筆者は、己の脳健康維持に努めることが今後の人生の目標になりました。

⁴【参考】総理府統計局八十年史稿は、Google ブックスで検索すると、スペニット表示のサイトとダウンロード可能なサイトにヒットします。スペニット表示のサイト4件のうち3件(うち一件は写真の頁)が断片的な画像として表示され、その3件からは「月島分庁舎」を含む頁はヒットしませんでした。

【別表】国立国会図書館デジタルコレクションで利用可能な統計史料の例

1-1 ログインなしで閲覧・印刷可能（インターネット公開（保護期間満了））

★統計学：一名・国勢略論 上篇（第1巻）	https://dl.ndl.go.jp/pid/805684
※このほか第2巻～第10巻あり（いずれも国立国会図書館デジタルコレクションでログインなしで閲覧可能）。	
★表記提綱	https://dl.ndl.go.jp/pid/805754
※国立国会図書館デジタルコレクションでは「表記提綱」で検索。	

（杉亨二関係）

★杉先生講演集	https://dl.ndl.go.jp/pid/898298
★杉亨二自叙伝	https://dl.ndl.go.jp/pid/980787

（国勢院時代の史実）

★国勢院第一部	https://dl.ndl.go.jp/pid/986562
---------	---

1-2 個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）で閲覧・印刷可能

（★は、令和5年²⁰²³年1月に新たに個人送信で閲覧・印刷可能となったことを確認済。）

（★は、令和5年²⁰²³年4月に新たに個人送信で閲覧可能となったことを確認済。）

（太政官・統計院時代の史実）

★政表課誌	https://dl.ndl.go.jp/pid/3023636
★政表会議日誌	https://dl.ndl.go.jp/pid/3023637
★統計院誌	https://dl.ndl.go.jp/pid/3023638

（統計局刊行物）

★総理府統計局八十年史稿	https://dl.ndl.go.jp/pid/3027573
★統計局研究彙報	https://dl.ndl.go.jp/pid/2896036
★⇒★統計研究彙報	https://dl.ndl.go.jp/pid/10160031
※統計局研究彙報と統計研究彙報は特定の号のみ。詳しくは、統計図書館コラム【雑学編】No.1014【別記】参照。 ★統計研究彙報は、令和5年 ²⁰²³ 年4月に新たにログインなしで閲覧・印刷可能となったことを確認済。	
★統計局の百年	https://dl.ndl.go.jp/pid/11930012

（統計制度再建）

★日本統計制度再建史 統計委員会史稿 記述篇	https://dl.ndl.go.jp/pid/9548229
★日本統計制度再建史 統計委員会史稿 資料篇(I)	https://dl.ndl.go.jp/pid/9548230
★日本統計制度再建史 統計委員会史稿 資料篇(II)	https://dl.ndl.go.jp/pid/9548231
★日本統計制度再建史 統計委員会史稿 資料篇(III)	https://dl.ndl.go.jp/pid/9548232

（民間統計団体の機関誌等）

★統計集誌（東京統計協会）（欠号あり）	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1617074
★スタチスチック雑誌（スタチスチック社）	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3567626
★統計学雑誌（統計学社）（欠号あり）	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1614574
★統計（統計）編集委員会(日本統計協会)（欠号あり）	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2895593
※欠号については、詳しくは統計図書館ミニトピックスNo.14【参考】参照。	

★統計情報（全国統計協会連合会）	https://dl.ndl.go.jp/pid/2895209
------------------	---

（民間統計団体(日本統計協会)の史料）

★日本統計協会年譜：創立100周年記念	https://dl.ndl.go.jp/pid/11916140
★[寸多][知寸][知久] 歴史及理論之部 1	https://dl.ndl.go.jp/pid/12011861
★[寸多][知寸][知久] 歴史及理論之部 2	https://dl.ndl.go.jp/pid/12011764
★[寸多][知寸][知久] 歴史及理論之部 別冊	https://dl.ndl.go.jp/pid/12011762

■**ロメモ**書名は、杉亨二の合成漢字のため、便宜、[寸多][知寸][知久]とされています。杉亨二は、「統計」という訳語が、スタチスチックの本来の意味を表現していないとしてよしとせず、自ら合成漢字を創作しました。

※「スタチクチック」で検索してもヒットします。

⇒ <https://www.stat.go.jp/museum/shiryo/sugi.html#h01>

⇒(杉亨二が創作した合成漢字) <https://www.stat.go.jp/museum/shiryo/img/sugiback.jpg>



1-3 国立国会図書館内限定で閲覧可能

（★は、令和5年²⁰²³年4月に新たに国立国会図書館内限定で閲覧可能となったことを確認済。）

（★は、令和5年²⁰²³年4月に新たに個人送信で閲覧可能となったが、同年10月に国立国会図書館内限定で閲覧可能となったことを確認済。）

★統計時報	https://dl.ndl.go.jp/pid/1615759
※統計時報の利用案内及び所在源情報は、統計図書館コラムNo.1014【別記】及び【付録】参照。	
☆統計局・統計センター百二十年史	https://dl.ndl.go.jp/pid/12658379
☆120年の歩み	https://dl.ndl.go.jp/pid/12658395
★総理府統計局百年史資料集成 第1巻 総記 上	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932504
★総理府統計局百年史資料集成 第1巻 総記 下	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932409
★総理府統計局百年史資料集成 第2巻 人口 上	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932503
★総理府統計局百年史資料集成 第2巻 人口 中	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932502
★総理府統計局百年史資料集成 第2巻 人口 下	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932170
★総理府統計局百年史資料集成 第3巻 経済 上	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932408
★総理府統計局百年史資料集成 第3巻 経済 下	https://dl.ndl.go.jp/pid/11932501
（民間統計団体(日本統計協会)の史料）	
★明治・大正期統計集誌論文選集	https://dl.ndl.go.jp/pid/12011971
★明治・大正期スタチスチック雑誌統計学雑誌論文選集	https://dl.ndl.go.jp/pid/12011970

【付録】総理府統計局八十年史稿における「庁舎」の検索結果

頁	内容	①NDL 個人送信	②Google ブックス
写真	麻布旧庁舎全景・同正門の写真	9コマ	
同	現庁舎の写真（折り・非展開）	10コマ	
同	現庁舎の写真（折り・展開）	11コマ	
同	現庁舎内部の写真（折り・展開）	12コマ	
同	現庁舎内部の写真（折り・非展開）	13コマ	
114	「明治四十二年五月三日新庁舎が麻布富士見町一番地に落成したので、これに移転し、…」	90コマ	4件目
395	「昭和十五年十一月以降内閣統計局月島分庁舎(東京都京橋区月島通り十二丁目)が建設された。…」	235コマ	6件目
617	「イ、十月四日午前十一時三十分から軍人援護に関して賜った勅語奉読式の挙行(月島分庁舎では河原書記官代行)」	347コマ	5件目
621	「…月島分庁舎が、昭和十九年九月、時局の緊迫に処して、目黒区衾町五百九十一番地東京都立高等学校内へ疎開した。」 「昭和二十一年二月二十七日夜不慮の出火により、庁舎の一部および統計機械を焼失した。」	350コマ	2件目
623	「同年五月総司令部から非公式に、本庁舎を中華民国の代表団事務所用として接收の協議があつた。」 「昭和二十一年四月の人口調査を始め最近各種の新調査を行いつつあるとき庁舎移転は事務の渋滞と計画予定の遅延を来す不利があること等を強調して、中華民国代表団の庁舎は統計局以外に求められたい旨を回答し、…」	351コマ	1件目
624	「…とくに昭和二十年五月二十四日夜、庁舎の一角に焼夷弾を受けた際のごときは、…」	352コマ	3件目
【余談】総理府統計局八十年史稿 624 頁で「庁舎の一角に焼夷弾を受けたごときは、…」とあり、「焼夷弾」で検索した場合、国立国会図書館デジタルコレクションでは該当頁がヒットしました。一方、Google ブックスではヒットしませんでした（「焼夷」もヒットせず。「弾」は該当頁がヒット）が、これは、Google ブックスにおいて「焼夷弾」を含む行が歪曲してスキャンされたことが影響して文字認識がうまくいかなかったものと思われます。スキニングの成否も文字認識精度に影響を及ぼすようです。最近の高性能なスキャナーは、自動歪曲補正機能や欠損部補完機能を得意とする広告（文字認識精度は不明）もあり、読取技術のさらなる進化が期待されます。			
674	(昭和 22 年 9 月一部改正の総理庁分課規程に係る記事) 「総務課 局内事務の調整…庁舎の保管…」	378コマ	
677	(昭和 24 年 6 月制定の総理府統計局内部組織規程に係る記事) 「総務課 局内事務の調整…庁舎の保管…」	379コマ	

①NDL 個人送信：国立国会図書館デジタルコレクションの個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）における全文検索結果

②Google ブックス：Google ブックス（ダウンロード可能なサイト）

